



美原&
美原東

ロイヤル・ニュース

MIHARA & MIHARA-HIGASHI ROYAL NEWS 2010-2011 WINTER Vol.20

○平成22年12月15日発行(年2回) ○発行人/野瀬泰良 ○企画・編集・発行/(宗)宙階教霊園管理部

好評に墓地使用が進む 美原東ロイヤルメモリアルパーク

平成十九年秋に開園した美原東ロイヤルメモリアルパークの第一期区画(エントランスゾーン)の墓地使用率がお陰様で八十五%を超えました。そこで平成二十二年三月、第二期区画の開発許可をとり、四月から造成工事を行いました。七月八日、工事の完了検査証(環衛第一五四一九号)を府から戴き、以後同霊園第二期区画(ロマンシユライゾーン)六五四区画の墓地使用者を近隣地域に募つて参りましたところ、幹線に面して交通至便の霊園でもあつて、中には霊園の前を通りかかられ、思いつきで見学された方もおられるくらいの立地条件の良さが幸いし、緑豊かな設計とフラットで幅の広い参道が現代霊園の名に相応しいと評判も良く、また丸長石材



による墓石デザインの独創性にも大変好評を博して、順調に使用者が増加して参りました。多くが墓地のみの購入者であつて、石碑はまだそう建つてはおりませんが、既に二割に迫る墓地使用の成約がございます。中でも人気が高いのは奥の神殿前の納骨室が集合タイプの壁型永代供養墓(定価五十八万円)と、七十

八万円の墓地墓石セット墓です。永代供養墓と言へば、どこでも合祀が普通ですが、このタイプは合祀ではなく納骨室も石碑も共にそれぞれ独立してあることが人気の理由です。又石碑のそのデザインの独自性が好評を博しています。そして人気が高いもう一つの企画は花壇の中にお墓が建てられるガーデンニング墓地でございます。

平成二十三年度にはいよいよ管理棟ビルが竣工
管理棟設計図が出来上がる
(三頁参照)

美原東ロイヤルメモリアルパークにて墓地を使用なさつていらっしゃるお客様には長らくお待ちいただいております管理棟ビルの建築でございますが、現在の仮設ビルのすぐ横に二階建ての管理棟ビルの建設がいよいよ平成二十三年度に始まります。今回の管理棟設計のポイント、車椅子の方の使用であり、二階の休憩室や法要施設にはエレベーターを使って昇降していただき、トイレも車椅子の方にも利用できるようにいたしました。詳しくは本紙三頁をご参照下さい。



美原ロイヤルメモリアルパークの合葬型の永代供養墓、法願寺涅槃堂の利用も少しづつではあるが增加しています。お墓守りがないからという理由の永代供養墓でありましたが、法願寺涅槃堂はしつこくゆう墓参客があるのが特長なのかもしれません。まったく普通のお墓のようにお参りに来れるのが良いのです。これも新しい時代のお墓です。

平成23年の美原ロイヤル管理棟の休館日を三頁に掲載しました

永代供養合葬墓、法願寺涅槃堂の利用も進む

明けましておめでとうございます

2011年(平成23年)元旦

今後皆様への広報は、新聞から徐々にホームページに移行したく、どうか日頃から霊園公式HPの「墓参者の皆様へ」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。(美原ロイヤルメモリアルパークか、美原東ロイヤルメモリアルパークを、YahooあるいはGoogleで検索し、公式HPを開いて頂いて、「お気に入り」にご登録下さい。)

(宗)宙階教 霊園管理部
●送迎・花・代参予約 ●管理料請求などへのお問い合わせ
TEL.072-363-1114 TEL.072-363-9002
(水休) (水休)

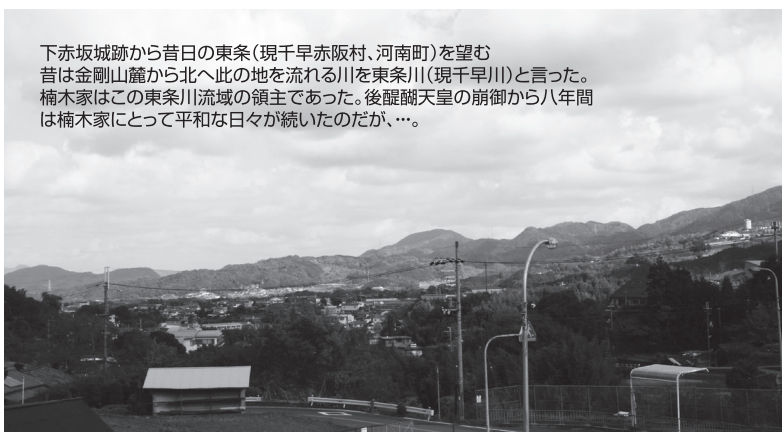


第十一回 巨星墜つ ― 尊氏は天龍寺を建て、親房は神皇正統記を著す ―

(赤) 宙助教代表役員 野瀬 泰良

聞く耳を持たれなかった頼朝の諫奏状... 河内を探訪すると言いつつ、河内の地を紀行できたであろうか。実は河内が歴史のスポットライトを浴びるのはまだこれからだ。第一部の主人公である南河内東条(現千早赤阪村、河南町)の領主、楠木正成の遺児、正行(まさゆき)兄弟らが成人したる後、再び足利幕府方と吉野の朝廷方との争いに巻き込まれる戦場が正に河内二帯となるのである。

下坂城跡から昔日の東条(現千早赤阪村、河南町)を望む。昔は金剛山麓から北へ此の地を流れる川を東条川(現千早川)と言った。楠木家はこの東条川流域の領主であった。後醍醐天皇の崩御から八年間は楠木家にとって平和な日々が続いたのだが、...



吉野に報じられた。これによつて南朝に味方する北陸軍も壊滅したのである。この年は後醍醐天皇を慕つて京を脱出し、吉野山にやつてきた近習の前内大臣、吉田定房(よしの)が一月に死去し、三月には楠木正成の献策を拒否し、正成を死に追いやつたあの坊門清忠(やまの)が死去した年である。その上奥州軍、北陸軍が共に壊滅した。絶望の淵に追いやられた吉野朝廷の悲嘆はいかばかりであったろう。そして八月、敵対する勢力が影を潜めたのを見届けるかのように足利尊氏(あしかが)が北朝の光厳上皇から征夷大将軍に任じられている。

後醍醐天皇はいつまでも悲嘆に暮れている訳には行かず、翌月には不死鳥のように気力を挽回され、再び地方に南朝に味方する勢力を盛り返そうと、結城宗広(むすき)の献策によつて、北畠親家の弟、顕信(あきのぶ)を近衛中将に任じ、義良(よしか)の親王を奉じさせて陸奥に下向させ、加えて北畠親房(ちか)を常陸(ひたち)に下向させ、宗良親王(むねよしか)を遠江(とと)に派遣し、満良(みつよし)を親王を土佐に派遣する作戦を立てられたのである。

にされるしかなかった。義良親王の船は尾張の篠島(しのしま)に戻され、その地から親王は吉野に戻られた。結城宗広は伊勢の吹上浦に漂着し、その地でもなく病死した。何とか曲がりなりにも目的の地に着いたのは、北畠親房と宗良親王だった。親房は常陸の小田城に、宗良親王は遠江の井伊城に入った。

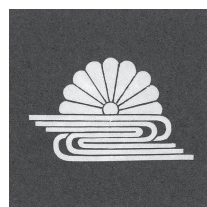
吉野山中の潜幸も早三年近く、不撓(ふたう)不屈の精神を持ち続けて来られた後醍醐天皇であったが、三十九年(延元四年)八月九日、遂に病に倒れられた。同月十五日、吉野の行宮(あんぐう)の御所には要害にして防衛力も充分であるから、行宮に気遣うことなく、朝敵追討の策を巡らせ、その遺勅を各地の南軍に発せられ、皇位を七の宮、義良親王(後村上天皇)にお譲りになられた。

「太平記(巻第二十二)の伝ではあるが、天皇は苦しい息のもで、「ただ永遠に滅ぼしてこの国を太平ならしめなかつたことである。朕が早世の後には義良親王を天子の位につけ奉つて、賢士、忠臣と謀り、義良兄弟の忠孝を賞して、その子孫を皇位に継承させ、帝王ではなく、新帝も皇位を継承させ、帝王ではなく、新帝も忠臣ではないのだ。」と遺言され、八月十六日午前二時頃、左手には法華経五の巻を、右手には御剣を握られたままお隠れになられた。

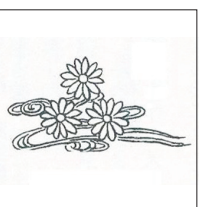
である。帝は尊くあられるが、自分だけ楽しんで万民を苦しめることは、天も許さず、神も祝福しない筈であるから、帝の政治の可否によつて、その御運も前途も開かれるもの、塞がってしまうものがあるにちがいないと思われ。まして臣下の者としては、帝を尊敬し、民を慈しみ、天地を恐れ慎んで、自分の身を正しくするために恩恵にもれることを省みるがよい。」(松村武夫訳「神皇正統記」第八十七代後醍醐天皇の章(育社))

後醍醐天皇は、朝敵(足利与党)討滅、京都復帰という凄まじい怨念をもつたまま崩御された。残された人々がその怨念を怖れたのは当然である。人々は、その後も益々激化する内乱と、それによつてもたらされる悲劇の数々を、後醍醐天皇を初めとする南朝方の怨霊の祟りであると信じていたようだった。

よつて足利尊氏、直義兄弟が、天皇の崇りを恐れ、天皇の菩提を弔うために、寺を建立しても不思議ではない。それが十月から南朝所縁の龜山天皇、嵯峨の離宮の跡地に造営が始まった歴応聖王(りやうせい)の天龍寺である。足利直義が後に神僧、夢窓(むそう)と相談の上、元派遣しに貿易の利潤を得ようとした「天龍寺」が、この天龍寺造営費を賄う目的で始められたものであった。落慶法要は六年後の三四年である。



楠家の菊文紋。田中俊賢氏は久子未亡人がデザインしたのだと主張する。



楠木正成が軍旗に使ったのはこのようなもので、中国の故事に習い、長寿を祈念した。

の関東軍参謀としての体験と重ねながら、たくましい想像力で著した田中俊賢(しんけん)「至五巻(評伝社)」の中で、正成が戦死した未亡人の久子(くす)によつて、楠木家から楠家に改名されたのだと主張する。それだけではない。今日の私たちが家紋として知る「菊文紋」も久子夫人のデザインに由来するのだ。正成の生前に軍旗に描かれていた菊文の原形はあくまでもその原形ではないのである。

筆者はその久子夫人の、夫正成が生きた時代の楠木家からの決別の意思を感じざるを得ない。足利尊氏は、新領地を奪うことは無かつたのである。久子夫人が後醍醐天皇に命を捧げた夫の意思を息子達によつて伝え、その息子達二人が又夫の弟の子らとともに後村上天皇に借しげもなく命を捧げたことによつて、時の軍部によつて息子達を忠君愛国の士に育てた母の鏡として絶賛されてきたけれども、本当に必要であつたのだらうか。久子夫人の時代は夫婦別姓の時代であつて、楠木久子ではなく南江久子と呼ぶのが正しいが、今となつては彼女の本音はどこにあつたか、結果が本当に彼女の願望通りであつたのか、知ることはできないのである。

しかも彼女は息子達や家人たちを最強の騎馬軍団に仕立て上げた。これも正成の槍を持たせたい歩兵中心の戦法を否定するものである。「坂の上の雲」の原作者、司馬遼太郎氏は、古来日本人は騎馬軍団を操るのが不得手であつたが、中でも源平合戦時代の源義経と、日露戦争時代の秋山好古の二人だけは、例外的に「天才的な騎馬軍団の操縦者」であつたと述べているけれども、楠正行率いる騎馬軍団の強さをよく知る田中俊賢氏は、そこに楠正行を加えることを忘れてはならないと主張しているのだ。

聞く耳を持たれなかった頼朝の諫奏状... 河内を探訪すると言いつつ、河内の地を紀行できたであろうか。実は河内が歴史のスポットライトを浴びるのはまだこれからだ。第一部の主人公である南河内東条(現千早赤阪村、河南町)の領主、楠木正成の遺児、正行(まさゆき)兄弟らが成人したる後、再び足利幕府方と吉野の朝廷方との争いに巻き込まれる戦場が正に河内二帯となるのである。

頼朝が京の朝廷より政権を奪取し、坂東に幕府を開いて百四拾余年の歳月が流れた。今鎌倉幕府が倒され、俄に天皇に政権が戻されたが、行政から長く離れたが故にやむを得ないところもあるが、支配される側から言へば、試行錯誤の繰り返しては正に朝令暮改であり、混乱至極、大変迷惑なところであつたのだ。これは現代の政権交代がないだろか。この政治と似た話ではないだろか。また公家が武家から独立して行政権を執行しようとしても、武力という裏付けが無ければ何ら強制力を発揮し得ず、建武中興の改革は何つ実を結ぶことではできなかった。法的強制力を持たない与党議員による国の「事業仕分け」が、結局は「形」を取り繕うだけで終わるようなものである。

頭家(かぶと)の死は南朝側から惜しまれたが、この諫奏によつて朝廷が反省すること、も、変わることも遂には無かつた。公家中心の南朝方人事の論功行賞は、功績よりも家柄の方が重要視された。つまり楠木正成がいかに功績を残そうが、南河内の成り上がり土豪に過ぎなかつた楠木家が、朝廷から重く見られることは最後まで無かつたのである。

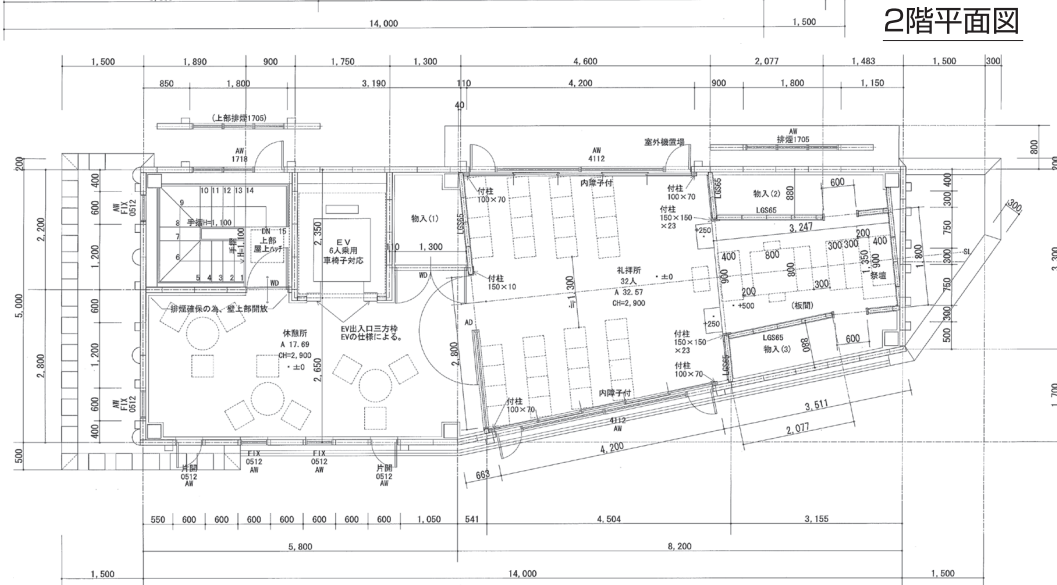
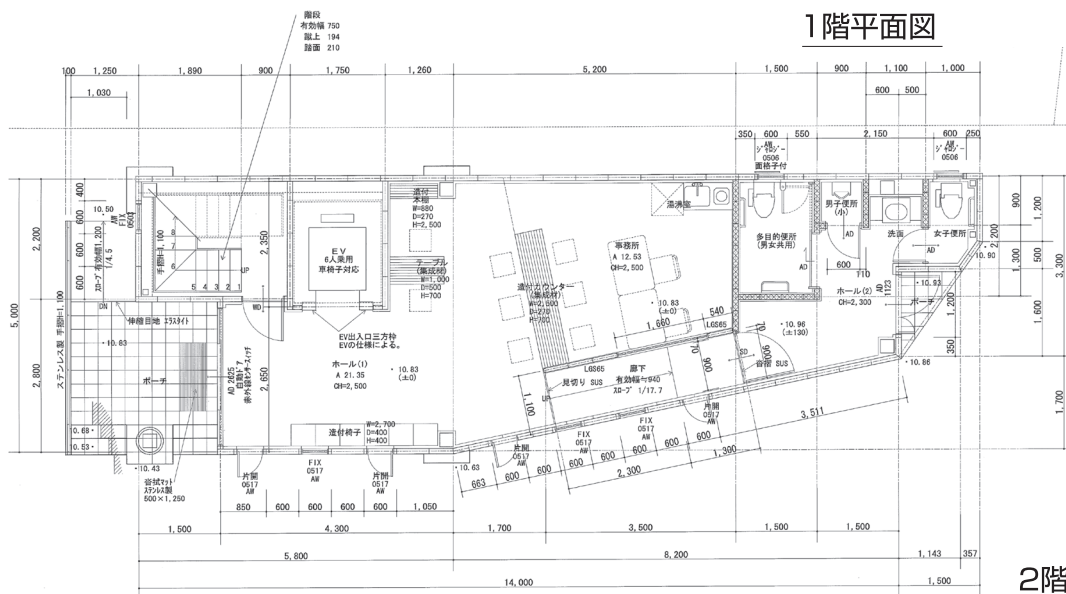
北陸軍の壊滅と南朝建て直し作戦... それから一ヶ月後の七月、北陸地方で足利方と戦い、南朝方の地盤を築いてきた新田義貞の藤島燈明寺殿での戦死が

「神は人民を安心させることを本願としていて、天下の万民はみな神のもの

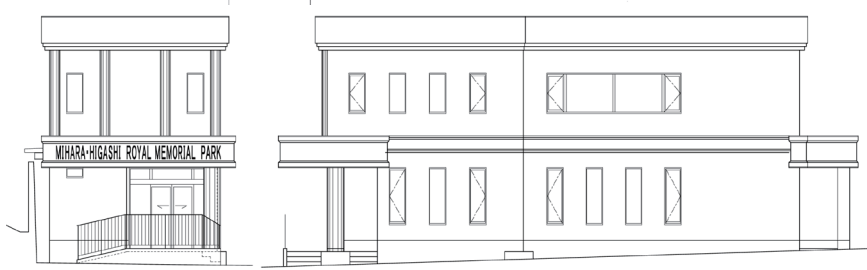
その後の東条、楠木家... 「楠木正成」と書くのに、息子は「楠正行(くすのまさゆき)」と表記することに気づく人は少ない。正成の遺児、正行の成人後の詳細な軍記を、日中戦争

美原東の管理棟ビルの設計が出来る

いよいよ平成二十三年度は美原東ロイヤルメモリアルパークの管理棟ビルの建設にかかります。その設計図は左記の通りです。二階部分は、休館日でも夜間でも開いている南側のトイレの部分と、戸締まりができる事務所や休憩スペースに分かれています。休憩室や法要施設(普賢殿)は一階にあつて、そちらに行くにはエレベーターを使用していただきます。エレベーターもトイレも車椅子で入れます。



立面図



東面 北面

美原東ロイヤルメモリアルパーク

平成23年度 **集合型永代供養墓春季供養会**
 美原東ロイヤルJ地区 ■3月21日(月祝) 11時半から30分
 導師 日蓮宗 朝日寺

美原ロイヤルメモリアルパーク

平成22年度 **法願寺涅槃陵供養会**
 美原ロイヤルB地区 ■12月26日(日) 10時半から

平成23年度 **霊園主催春季彼岸供養会**
 美原ロイヤル先祖供養堂 ■3月21日(月祝) 10時半から30分
 導師 高野山真言宗 法願寺

平成23年度 臨時休館日

美原ロイヤルメモリアルパーク管理棟事務所におきましては、右記日程を臨時休館日とさせていただきます。

1月11日(火)、1月13日(木)
2月7日(月)、2月8日(火)
3月7日(月)、3月8日(火)
4月4日(月)、4月5日(火)
5月9日(月)、5月10日(火)
6月6日(月)、6月7日(火)
7月25日(月)
8月22日(月)、8月23日(火)、8月25日(木)
9月26日(月)、9月27日(火)
12月5日(月)、12月6日(火)、12月8日(木)

平成23年度 **佛乗寺永代供養墓春季彼岸会**
 美原ロイヤルL地区 ■3月20日(日) 10時半から

平成23年度 **法願寺涅槃陵春季彼岸会**
 美原ロイヤルB地区 ■3月21日(月祝) 11時から30分



正月用の墓参は、十二月二十六日(日)～一月十日(日)

今年(日)は年未年始の墓花を従来約三千円から二千五百円に値下げ致しました。しかし「皇室カレンダー」(先着順)と「ロソク線香セット」は従来通り付けさせて頂いておられます。カレンダーは二百五十ご用意しましたが、無くなるのを心配されるお客様や、早くカレンダーが欲しいとおっしゃられるお客様には、昨年同様に「年未年始墓花予約券」(十二月二十五日まで二千五百円)をご購入いただき、先行してカレンダーをお渡しする制度を設けさせていただきます。

春季彼岸の墓参は、三月十八日(金)～三月二十二日(火)

この期間、墓花はロソク線香付で二千円となります。彼岸の墓参は二十日(日)～二十三日(月)に集中するかと思われ、駐車場は午前中がいつも一杯となりますので、墓参時間を午後や夕方とされるのもひとつの選択です。

尚、二十日(日)～二十三日(月)は送迎バスを増便いたします。

平成23年1月										平成22年12月						月	
14	13	12	11	10~6	5	4	3	2	1	31	30	29	28	27	26	25	日
金	木	水	火	月~木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜日
通常	振替休館日	定休日	振替休館日	通常	定休日	通常	通常	通常	午前八時三十分~午後二時 開館	午後九時~午後三時 開館	通常	臨時開館	通常	通常	法願寺涅槃陵供養会 通常	通常	美原
通常	通常	定休日	通常	通常	定休日	通常	通常	通常	午前〇時~午後二時 開館	午前九時三十分~午後三時 開館	通常	休館日	通常	通常	通常	通常	美原東
通常	臨時運休	運休日	運休日	通常	運休日	運休日	通常	通常	運休日	午前中 各二便	通常	臨時運行	臨時運行	通常	通常	通常	送迎バス 墓参

美原ロイヤル&美原東ロイヤル墓参送迎バス出発時刻表 全便予約制。定員17名。

南海北野田駅東口 ライフ第二駐車場発		近鉄松原駅南口 ローター発	
第一便	9:30	第一便	10:10
第二便	10:55	第二便	11:40
第三便	14:30	第三便	13:50
第四便(彼岸)	16:10	第四便(彼岸)	15:30

■詳しくは、美原ロイヤル事務所までお問い合わせください。(072)363-1114



2011年皇室カレンダーの写真から

2011年 皇室カレンダー プレゼント! 正月用墓花購入の方、先着二百五十名様に宙界神社からプレゼントされます。

平成23年3月								月	
23	22	21	20	19~10	9	8	7	日	
水	火	月	日	土~木	水	火	月	曜日	
定休日	通常	通常	佛乗寺永代供養会 通常	通常	定休日	振替休館日	振替休館日	美原	
定休日	通常	通常	通常	通常	定休日	通常	通常	美原東	
運休日	運休日	増便	増便	通常	運休日	運休日	臨時運休	送迎バス 墓参	

謹賀新年

平成23年 元旦

美原東、第二エリア竣工式 平成22年7月13日



美原ロイヤルメモリアルパーク 美原東ロイヤルメモリアルパーク 霊園施主

宗教法人 宙階教



宙界神社

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾1059番地26